



秘密保護法案の危うさ重なる 映画「陸軍登戸研究所」

●ドキュメンタリー映画「陸軍登戸研究所」が2



日に上映された。戦前の軍機保護法のもと存在すら極

秘だった研究所。終戦直前には証拠隠滅命令により、無きものとされていた。

しかし、高知の楮で作られた「風船爆弾」や「電波兵器」、生体実験による毒物、そして軍を挙げたの「偽札づくり」が貴重な証言とともに明らかにされていく！

当時の所長（陸軍中将）は「お金にオンチになっていました」「使い放題だった」と。国民が塗炭の苦しみにある中であっても、予算の用途すら「秘密」の一言で一切明らかにされる事がな

かったから非人道的施策がなされたのである。

●今、米軍との機密情報を保護するため、自公が可決しようとしている「特定秘密保護法案」



の危険性がオーバーラップする。

上映会を企画した実行委員会の代表、崎山ひろみさんは風船爆弾作りに動員された方。その意味を問う中で出会ったのが彼女が手にする書籍「風船爆弾」（上写真）。著者の吉野興一氏は私の大学の後輩、高知に取材に来た折、ともに、伊野町や市の和紙関係者を訪れた。監督の楠山忠之氏も奇しくも同じ上智大学OB。

研究所は、市民の運動のもと、今、明治大学平和教育登戸研究所資料館として、一部残され公開されている。



★ラリンにやんでも通信

持った力、平和の思いを広げよう。合言葉は「まじりまじり」。

★憲法公布67周年県民の集い
4日、宇都宮健児弁護士を講師に開催。特定秘密保護法案はじめ憲法改悪を許さない運動が暮らしを守る。トランプペツト奏者の松平晃さんも初来高。美しい音色に参加者の心は一つになりました。



無料 法律相談

11月14日(木)午後6時～8時

弁護士 山本尚吾さん

場所 吉良富彦事務所

(愛宕商店街「おらんく家」対面)

TEL 855-9439

事前に御予約頂くと確かです。